

別紙9 分析業務一覧表

測定対象	測定項目		頻度	
			稼働初期 1 年	安定運転期
下水汚泥再資源化物	含水率		12回／年	12回／年
	高位発熱量		12回／年	12回／年
	可燃分組成 ※ 1	炭素	12回／年	4 回／年
		水素	12回／年	4 回／年
		窒素	12回／年	4 回／年
		酸素	12回／年	4 回／年
		硫黄	12回／年	4 回／年
		塩素	12回／年	4 回／年
	灰分化学組成 ※ 1	SiO ₂	2 回／年	1回／年
		Al ₂ O ₃	2 回／年	1回／年
		Fe ₂ O ₃	2 回／年	1回／年
		CaO	2 回／年	1回／年
		MgO	2 回／年	1回／年
		Na ₂ O	2 回／年	1回／年
		K ₂ O	2 回／年	1回／年
		SO ₃	2 回／年	1回／年
		P ₂ O ₅	2 回／年	1回／年
		TiO ₂	2 回／年	1回／年
		V ₂ O ₅	2 回／年	1回／年
		MnO ₂	2 回／年	1回／年
	肥料主成分	N(窒素全量)	12回／年	4回／年
		P ₂ O ₅ (リン酸全量)	12回／年	4回／年
		K ₂ O(加里全量)	12回／年	4回／年
		公定規格の主成分別表第一のうち事業者が提案したもの	12回／年	4回／年
	重金属	Cd(カドミウム)	12回／年	4回／年
		Pb(鉛)	12回／年	4回／年
		T-Cr(全クロム)	12回／年	4回／年
		As(ヒ素)	12回／年	4回／年
		T-Hg(総水銀)	12回／年	4回／年
		Ni(ニッケル)	12回／年	4回／年
消化ガス	発熱量		12回／年	12回／年

※ 1：有効利用先に応じて必要となる測定項目が異なることから、事業者の提案に基づき測定を実施する。

別紙9 分析業務一覧表

測定対象	測定項目		頻度	
			稼働初期 1 年	安定運転期
汚水排水 (事業系)	温度		4 回／年	2 回／年
	水素イオン濃度 (pH)		4 回／年	2 回／年
	生物化学的酸素要求量 (BOD)		4 回／年	2 回／年
	浮遊物質 (SS)		4 回／年	2 回／年
	よう素消費量		4 回／年	2 回／年
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	鉱油類含有量	4 回／年	2 回／年
		動植物油脂類含有量	4 回／年	2 回／年
	窒素含有量 (T-N)		4 回／年	2 回／年
	リン含有量 (T-P)		4 回／年	2 回／年
	クロム及びその化合物		4 回／年	2 回／年
	フェノール類		4 回／年	2 回／年
	銅及びその化合物		4 回／年	2 回／年
	亜鉛及びその化合物		4 回／年	2 回／年
	鉄及びその化合物 (溶解性)		4 回／年	2 回／年
	マンガン及びその化合物 (溶解性)		4 回／年	2 回／年
排出ガス ※ 2、※ 3	ばいじん		6 回／年	※ 4
	硫黄酸化物		6 回／年	※ 4
	窒素酸化物		6 回／年	※ 4
	塩化水素		6 回／年	※ 4
	水銀		6 回／年	※ 4
	ダイオキシン類		4 回／年	1 回／年
臭気※ 2	臭気指数		4 回／年	2 回／年
	臭気排出強度		4 回／年	2 回／年
騒音	(夜間)		2 回／年	1 回／年
振動	(夜間)		2 回／年	1 回／年

※ 2：事業者が提案する下水汚泥再資源化施設の仕様により、測定項目及び頻度が異なることが想定されることから、法令等に基づき設定すること。ただし、稼働初期 1 年目の測定頻度は表に示したとおりとする。

※ 3：第三者機関による測定によるものとする。

※ 4：大気汚染防止法に準ずる。